



南九州交通共済協同組合が 熊本県SDGs登録事業者として登録されました！



SDGsとは…

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。

SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。（外務省HPより抜粋）

子供達の未来を守り・豊かな社会の実現のための持続可能な17の目標



©2010 熊本県くまモン

熊本県SDGs登録制度とは

熊本県が、SDGsに積極的に取り組み企業や団体等を後押しし、熊本県内におけるSDGsの取り組みの裾野を広げるために令和3年1月に創設した制度。

熊本県内の企業等が、自らの活動とSDGsの関連性を認識し、SDGsの達成に向けた具体的な取り組みを推進することにより、SDGsの普及を促進することを目的とした制度です。

第1期募集…令和3年4月1日から5月31日までの間

当組合も熊本県SDGs登録制度に賛同し令和3年4月1日に登録申請

令和3年8月25日熊本県内442事業所の一つとして認定されました。

南九州交通共済協同組合の取り組み

三つの重点的な取り組み

令和3年9月1日付の熊本日日新聞に掲載されました。

- 環境** エコドライブ運動を推進し、エコドライブの普及活動を支援する。
- 社会** 交通事故防止活動（講習会・適性診断・安全装置助成事業）を積極的に推進する。
- 経済** 段階的な定年制度の延長により、就労意欲のある職員が長く働くことができる雇用の場を創設する。

当組合は上記三つの重点的な取り組みの他に、SDGsの17の目標に関する30の具体的な取り組み項目を設定し、各目標の達成に向けて役職員が一丸となった取り組みを行っています。



子供たちの未来を守り、誰一人取り残さずに発展し続ける社会を目指して私たちができること実行する